



蘭 ま 推 号
平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省道路局長 様

蘭越町長 宮谷内 留 雄



今後の道路政策のあり方に関する意見について

このことについて、次の項目について別紙のとおり提出します。

記

- 1 住民の生命を守るための道路政策
- 2 地方と都市の役割分担及び地域間格差解消のための道路政策

(総務課まちづくり推進係)

今後の道路政策のあり方に関する意見

団体名 北海道 蘭越町

○住民の生命を守るための道路政策

今日、都市と地方との格差は多くの面で生じており、地方に住む人の生活全般に大きな影響が現れています。

特に、住民の生命に直接関わる医療体制は、地域医療の拠点となる地方病院が、新医師臨床研修制度などの要因により、医師の確保、病院の維持が困難となり、地方における医療体制が重大な危機に直面している状況となっております。

このため、急病等の緊急時には、これまで救急自動車により地域の医療拠点へ搬送されてきましたが、これからは高度な医療体制の整った都市の病院への搬送が、一層増大すると推測されています。

また、地域住民が病院等へ行く場合も、JR等の地方交通手段が限られていることから、多くの方が自動車を利用しています。

このように、地方では地域住民の生命に係る医療体制が都市に比べ大きなハンディキャップを背負っており、道路網の利用が前提となった医療体制となっております。

このため、地方と都市を結ぶ道路網の整備により、時間短縮、交通の利便性の向上が図られることが、地方の住民の命を守り、安全安心の向上、地域間格差の解消に繋がるものであり、地方の市町村と都市を結ぶ幹線道路及び高速道路の整備を重点的に取り組むことを望むものです。

今後の道路政策のあり方に関する意見

団体名 北海道 蘭越町

○地方と都市の役割分担及び地域間格差解消のための道路政策

今日、地方と都市はそれぞれの役割を担い、相互に補完しながら生活圏を形成しています。

特に地方は都市への食料生産基地として大きな役割を果たしており、農作物、水産物等の生鮮品の出荷は収穫期、漁獲期には毎日のように行なわれており、その物流の多くは道路を利用した輸送手段となっています。

このように、地方と都市を結ぶ幹線道路や高速道路は、物流に重要な役割を果たしており、地方経済の大きな支えとなっています。

また、農作物や水産物の地域ブランドの確立には、製品の安全安心に加え、新鮮さも大きな魅力となることから、物流に要する時間の短縮は大変重要であり、更に、輸送時間の短縮は製品の鮮度維持だけでなく、コストの低減が期待されます。

その一方で、消費地である都市との幹線道路及び高速道路の整備されている地域に対し、時間的なハンディキャップのある地域とでは格差が生じ、道路網という地方では対応できない部分で、地域間競争での不利益となっている場合もあります。

道路網の整備により、生産地と消費地の輸送時間が短縮され、コストの低減が図られることにより、地域間のハンディキャップが解消され、公平な地域間競争となり、また地方と都市間でお互いの移動が容易になることにより、それぞれの持つ役割分担、サービスが相互に補完され、広域的な経済の活性化に繋がることが期待されることから、幹線道路及び高速道路の整備を重点的に取り組むことを望むものです。